

都道府県名	番号	計画名	計画期間	分野 (複数可)	活動計画の要約	連携機関 (役割分担)					活用事業
						市町村	JA	民間企業	試験研究機関	その他	
愛知県	3	水稲品種「愛知135号(あいちのこころ)」栽培マニュアル実証と普及拡大	R6 ~ R8	稲作	○高温登熟耐性を有し玄米品質の向上が期待される水稲品種「愛知135号」が令和7年から一般栽培化される。 ○令和6年に農業総合試験場作物部が「愛知135号安定栽培マニュアル」を作成した。栽培マニュアルによる栽培で収量、品質が確保できるか現地実証をする。 ○一般栽培化に伴う面積拡大により、条件不利地での栽培が想定されることから、対応を検討する。 ○出穂期が高温に遭遇しやすい、直播栽培等の玄米品質安定のための改良版肥料試験を検討する。						
愛知県	4	水稲の品質向上に向けた後半重視型肥料の検討	R8 ~ R9	稲作	○水稲の高温障害対策として、全量基肥の水稲生育後半の肥料溶出割合を多くした後半重視型肥料の利用が検討されている。 ○「あいちのかおりSBL」の不耕起V溝直播は高温期に出穂するため品質が低下しやすい。 ○農総試の場内試験では、「あいちのかおりSBL」の不耕起V溝直播で後半重視型肥料の利用により、前半の生育を抑え、品質が向上する効果が確認された。現地実証で効果、普及性を検討する。						(国)グリーンな栽培体系加速化事業
愛知県	5	水稲の着色米対策の検討	R8 ~ R9	稲作	○水稲において令和6年度に「腹黒米」と「黒点米」が発生し検査等級が低下する事例があった。等級低下による収入減を招いた。 ○高温期に出穂する「あいちのかおりSBL」不耕起V溝直播で多く発生した。○出穂から収穫までの期間が長い品種に出やすい傾向があり、発生しやすい作期と対策について検討する。						(国)グリーンな栽培体系加速化事業
愛知県	6	気候変動対応型いちご生産技術開発	R8 ~ R10	野菜 スマート農業	イチゴ「愛きらり」について、夏秋の高温対策を農総試が中心となって技術開発・普及推進する。また、愛知県における植物工場への導入可能性について、調査する。 事業成果を通じて「愛きらり」の収穫期間延長、早期収量の増加、炭疽病抵抗性を有する新品種開発を目指す。						地方創生事業
愛知県	7	施設果菜類におけるグリーンな栽培体系の導入	R8 ~ R9	野菜 持続可能な農業	○施設ナス栽培では、害虫の化学農薬への感受性低下が問題となっており、効率的・効果的な病害虫防除による農薬散布の省力化と化学農薬低減が求められている。 ○気候変動による夏秋期の高温により定植時の苗の活着不良や落花等が起こり、収量の低下を招いており、効果的な高温対策が求められている。 ○県内複数産地において、薬剤抵抗性を考慮した農薬の選定、微生物等生物農薬と侵入防止資材による害虫防除技術、遮光・遮熱資材を利用した暑熱対策を実証する。 ○実証試験を通して産地に適した技術を組立てることによって、グリーンな栽培体系の普及を目指す。						(国)グリーンな栽培体系への転換サポート
愛知県	8	アブラナ科野菜におけるグリーンな栽培体系の導入	R7 ~ R8	野菜 持続可能な農業	○アブラナ科野菜では気候変動により病害虫が増えており、農薬散布の負担軽減と化学農薬低減が求められている。 ○適期防除には病害虫の発生状況の早期把握や予察が重要であり、病害虫予報AI情報を活用した防除技術を検証する。 ○経営規模拡大で防除作業の負担が増える中、ドローン防除の有効性を検証する。 ○実証試験を通して病害虫防除の課題に対応し、農薬低減と省力化技術を構築・普及し、県内産地のグリーンな栽培体系の普及を目指す。						(国)グリーンな栽培体系への転換サポート
愛知県	9	花きにおける光を活用した害虫防除対策技術の確立	R7 ~ R9	花き	○本県の花き生産において防除困難な病害虫(アザミウマ類、ヤガ類、コナジラミ類、うどんこ病)による被害軽減、環境負荷軽減、薬剤散布回数軽減を目的に近年注目されている赤色光、緑色光、青色光、UV-Bを用いた防除効果及び薬剤散布回数軽減効果を検証するとともに、設置方法、照射期間等効果的な使用方法を確立する。						(国)グリーンな栽培体系加速化事業
愛知県	10	イチジクの低リン酸型肥料を用いた減化学肥料かつ省力的施肥技術の開発	R5 ~ R9	果樹 土壌肥料	○県内のイチジクほ場の土壌診断結果を見ると多くの圃場でリン酸過剰となっている。 ○このため、農業総合試験場とJAあいち経済連が共同で肥効調節型肥料の肥料成分の見直しを行い、リン酸を約50%削減した肥料での実証を行っている。 ○この肥料の利用により、施肥量は40kg/10a削減ができ、施肥の省力化、生産資材コストの低減につながる。 ○そこで、新しい施肥技術による、果実品質、収穫量への影響を確認し、県内産地への導入を進める。						
愛知県	11	環境に配慮した飼料用トウモロコシ栽培体系の普及及び自給飼料供給体制の強化	R8 ~ R10	畜産 土壌肥料	○飼料価格の高騰を契機に養牛農家の国産飼料用トウモロコシに対する購入要望が高まっている。これをうけて、水田の転換作物として飼料用トウモロコシ生産を行う耕種農家が増えている。 ○家畜ふん堆肥を活用した環境に配慮した飼料用トウモロコシ栽培体系を普及させるため、土壌診断による地力に応じた肥培管理を実証する。 ○飼料用トウモロコシにおける栽培体系の確立と併せて、供給体制の整備と耕畜連携における堆肥の流通システムの構築に取り組みとともに耕畜農家及び関係機関との情報交換を行うことにより地域産飼料生産の拡大と堆肥の利活用を促進する。						(国)グリーンな栽培体系加速化事業

都道府県名	番号	計画名	計画期間	分野 (複数可)	活動計画の要約	連携機関(役割分担)				活用事業	
						市町村	JA	民間企業	試験研究機関		その他
愛知県	12	アブラナ科植物の黒すす病防除対策	R7～R8	病害虫	○近年、東三河地域においてアブラナ科植物で黒すす病の発病が増加し、ブロッコリーでは被害が甚大なほ場も発生している。 ○被害を経済的許容水準以下に抑制するために、防除効果の高い薬剤による体系防除や化学農薬以外の対策が必要である。 ○体系防除効果の検証、品種間差比較、土壌消毒の手法など防除対策を検証し、防除対策検討会をとおして、現場の技術の普及を支援する。						(国) グリーンな栽培体系加速化事業
愛知県	13	地域の実情に合わせた鳥獣被害防止技術の実証・導入	R6～R8	鳥獣被害対策	○本県の農作物に対する鳥獣被害金額は年間4～5億円で推移しており、甚大な被害が発生している。 ○被害防止対策は地域の作目、地形、栽培方法、対象鳥獣など地域の実情に合わせた形で対策が必要である。 ○農研機構が開発したガラス用侵入防止柵「くぐれんテグス君」等を地域の実情に合わせた形で設置し、侵入防止効果を実証する。						(国) 鳥獣被害防止総合対策事業
愛知県	14	新規就農者の確保体制の整備	R7～R9	就農	○農業従事者の高齢化等に伴い新規就農者の確保は急務であり、次代の担い手を確保育成する必要がある。 特に、担い手の減少が心配される産地においては、新規参入者受入の機運が高まり、産地の維持・発展を目指し、生産者と関係機関が連携して研修受入体制を整備し、担い手の育成を図っている。一方で、研修受入機関が少ない、研修生が集まらない地域・品目がある。 ○就農希望者が適切な研修をうけ、スムーズな就農に導くため、各地域の研修受入体制の整備、農地や空きハウスの斡旋する仕組みづくりを支援する。 ○愛知県で就農したい人材を確保するための就業オンラインプラットフォームがR8年2月にスタートした。8年度はプラットフォーム内での就農説明コンテンツの視聴、就農相談申込を実現させる。また7年度に作成した就農準備チェックリストのプラットフォーム内での活用、地域の情報発信等の支援を行う。						(国) 新規就農者育成総合対策 (国) 就農サポート事業
三重県	1	水田農業の持続・発展に向けた基盤強化	R5～R8	・稲作 ・普通畑作物	水稲、麦、大豆等の生産性の維持向上、担い手の経営基盤強化や水田富農のシステム化の取組により水田農業の基盤強化を図ります。	・各農業政策に関する情報提供	・各作物の振興方針の検討 ・巡回指導及び研修会の実施 ・品種や資材等の現地試験の実施 ・種子生産に係る連携	農業資材メーカー ・新資材や新技術に係る情報提供 ・新資材等の現地試験への協力	県農業研究所 ・病害虫、土壌診断 ・新品種及び新技術に関する情報提供 ・現地試験への協力		(国) グリーンな栽培体系加速化事業
三重県	2	伊勢茶産地を次世代につなげる構造改革の推進	R5～R8	・県が定める分野(茶)	茶産地において、担い手への優良茶園の集約化、生産・販売方法の改善、担い手の育成に取り組み、構造改革を推進し、茶産地を次世代につなげることを目指します。	・産地の構造改革に必要な課題の洗い出しや解決に向けた助言など	・産地の構造改革に向けた助言や農家のとりまとめなど	県内DMO、農業資材メーカー他 ・産地で考える構造改革に必要な取組への連携や推進など	県農業研究所、農研機構他 ・産地が抱える課題に対する技術的解消		(国) グリーンな栽培体系加速化事業 (県) 未来につなぐ伊勢茶ブランドリノベーション事業
三重県	3	果樹産地の次代を切り拓く構造改革の推進	R5～R8	・果樹	果樹産地が、産地プロフィールに基づき取り組む課題解決を支援し、産地の構造改革を推進します。また、産地プロフィールを作成していない果樹産地についても現状を診断し、産地プロフィールを作成します。	・産地の構造改革に必要な課題の洗い出しや解決に向けた助言、農業政策及び農地情報に関する情報提供 ・果樹産地協議会事務局	・地域の生産者部会の活動支援 ・果樹産地協議会事務局	農業資材メーカー ・地域ネットワーク事業者、NPO他 ・現場の課題解決に取り組むための情報共有 ・現場実証試験の技術的協力	県農業研究所、農研機構他 ・産地が抱える課題に対する情報提供、試験研究	公益社団法人三重県青果物価格安定基金協会、各果樹産地協議会 ・産地が抱える課題解決のための果樹経営支援対策事業	(国) グリーンな栽培体系加速化事業、果樹経営支援対策 (県) 果樹輸出産地強化支援事業
三重県	4	消費を意識した花き花木産地の改革推進	R5～R8	・花き	認知度向上に向けた取り組みや需要に応じた品目の導入等の取組により消費を意識した花き花木産地への改革を目指します。また、「物流2024年問題」に対応するために持続可能で効率的な物流体制の構築に取り組めます。	鈴鹿市、伊勢市他 ・地域で行う認知度向上に向けた取組の企画実施	・地域の生産者部会の活動支援 ・地域で行う認知度向上に向けた取組の企画実施 ・現場の課題解決に取り組むための情報共有	農業資材メーカー他 ・現場の課題解決に取り組むための情報共有 ・現場実証試験の技術的協力	県農業研究所他 ・産地の課題解決につながる技術的支援 ・県産花き花木の消費拡大につながる取り組みの企画実施	花の国づくり三重県協議会 ・県産花き花木の消費拡大につながる取り組みの企画実施	(国) ジャパンフラワー強化プロジェクト (県) 持続可能な花とみどりのにぎわい創出事業、花き花木普及拡大促進事業
三重県	5	肉用牛経営安定のための和牛子牛生産拡大	R5～R8	・畜産	県内における和牛子牛の生産拡大のために、繁殖雌牛の飼養・繁殖成績および子牛の哺育・育成技術改善、新規繁殖農家の掘り起こしと重点指導、地域内肥育一貫体制の構築に取り組み肉用牛経営安定を目指します。	・畜産クラスター協議会の活動支援 ・新規相談及び就農者支援	・県和牛繁殖協議会の活動支援 ・畜産クラスター協議会の活動支援 ・制度資金の活用支援	獣医師 ・繁殖農家の飼養管理に関する情報共有	県畜産研究所 ・繁殖技術支援	県家畜保健衛生所 ・代謝プロフィールテスト実施支援	(国) 畜産クラスター事業 (県) 肉用牛生産基盤強化支援事業費
三重県	6	新たな取組による野菜産地の維持活性化	R5～R8	・野菜 ・持続可能な農業	野菜産地の維持活性化に向けて、新規生産者の確保や新技術(スマート農業機械等)、新品目の導入に取り組めます。また、総合的な防除体系などの導入により環境に配慮した栽培技術を普及します。	・就業相談及び就農者支援	・産地振興の検討 ・生産者部会での巡回指導及び研修会の実施 ・品種や資材等の現地試験の実施	農業資材メーカー ・新資材等の情報提供 ・資材の現地試験におけるサンプル提供及び試験への助言	県農業研究所 ・病害虫/土壌診断 ・新品種、新技術に関する情報提供 ・現地課題解決に向けた試験研究の実施 ・現地試験への協力		(国) グリーンな栽培体系加速化事業 (県) 野菜自給力強化体制づくり事業 (県) 施設園芸栽培環境改善支援事業 (県) 物価高騰対応国内資源由来肥料転換モデル事業
三重県	7	新規就農者の経営安定	R5～R8	・就農	就農5年までの新規就農者に対し、早期に経営が自立できるよう、経営目標達成に向け支援を行います。また、地域の関係機関が連携した受入体制の構築に向け活動します。	・青年等就農計画の計画策定支援と認定 ・青年等就農計画の達成に必要な各種補助事業の相談・活用支援	・新規就農者への経営支援、研修会の実施 ・制度資金等の利用相談	農業資材メーカー ・新資材や新技術に係る情報提供	県農業研究所	・農業経営・就農支援センターによる経営改善にかかる専門家派遣や経営分析 (県) 農業分野における多様な担い手確保事業	(国) 経営発展支援事業 (国) 就農準備資金・経営開始資金 (県) 農業分野における多様な担い手確保事業

都道府県名	番号	計画名	計画期間	分野 (複数可)	活動計画の要約	連携機関 (役割分担)					活用事業
						市町村	JA	民間企業	試験研究機関	その他	
三重県	8	担い手の経営理念の実現	R5 ~ R8	・経営 ・6次産業化 ・農業生産工程管理(GAP)	農業の担い手が、先進的な経営体で発展することで、農業生産力の維持拡大を目指して活動します。特に経営面の課題が明確になり集中的な支援が必要と考えられる重点対象に対して、6次産業化の支援、GAPの導入等により経営力向上に向けた支援に取り組みます。	・農業経営改善計画の認定と計画策定支援 ・経営改善に資する各種補助事業の相談、活用支援	・担い手農業者、組織などへの経営支援、研修会の実施 ・制度資金等の利用相談	加工業者等 商品開発や販売に関する相談、技術支援	県農業研究所 ・農業生産工程管理の取組状況チェックシートとの分析と活用支援 工業研究所 ・食品加工の技術支援、機器開放等	・農業経営・就農支援センターによる経営改善にかかる専門家派遣や経営分析 ・農地中間管理機構による農地集積などの支援 ・地域資源活用・地域連携サポートセンターによるプランナー派遣や相談対応	(国) 農山漁村振興交付金のうち地域資源活用価値創出対策 (国) 農業経営・就農支援体制整備推進事業(国) 持続的生産強化対策事業
三重県	9	農業被害軽減に向けた効果的な獣害対策の推進	R5 ~ R8	・鳥獣被害防止対策	集落ぐるみの追い払いや侵入防止柵の整備・管理等の「被害対策」を引き続き進め、取組の拡大に向け、周辺地域などへの取組の波及を図ります。また、獣害対策と地域農業振興の視点を持ち、営農体制づくりや特産品づくりなど地域農業活性化に向けた支援につなげています。	・被害状況の把握 ・侵入防止柵の設置支援 ・獣の捕獲支援	・被害状況の把握 ・農業者の対策実施支援	・対策資材の開発、情報提供	県農業研究所 ・対策技術の開発		(国) 鳥獣被害防止総合対策交付金
三重県	10	みどりの食料システム戦略・SDGsへの対応(生産環境)	R5 ~ R8	・県が定める分野(生産環境) ・持続可能な農業	IPMや土づくりの実践を拡大し、環境負荷の少ない栽培管理技術の普及を目指します。また、有機農業の推進に向けた環境づくりに取り組みます。		・産地における防除暦策定に関する検討、情報共有 ・現地課題解決に向けた栽培技術等の実践、効果の検証に向けた協力	農業等資材メーカー ・農業登録に向けた情報共有 ・新規農業・肥料等に関する情報共有 ・新資材利用技術実証圃	県農業研究所 ・作物障害診断(病害虫・土壌分析) ・現地課題解決に向けた研究実施協力 農研機構 ・新規技術に関する情報共有		(国) みどりの食料システム戦略推進交付金(環境負荷低減活動定着サポート) (国) グリーンな栽培体系加速化事業
三重県	11	みどりの食料システム戦略・SDGsへの対応(畜産)	R5 ~ R8	・畜産 ・持続可能な農業	自給飼料やエコフィードの家畜利用への拡大、暑熱対策による飼養管理や良質な堆肥の生産・流通に取り組み、環境負荷の少ない持続的な畜産経営の確立を目指します。	・畜産クラスター協議会の活動支援 ・畜産環境対策指導	・畜産クラスター協議会の活動支援 ・飼料作物栽培技術指導 ・家畜糞堆肥の利活用推進	食品製造事業者等 ・畜産農家へのエコフィードの提供 農業関係業者 飼料作物の栽培、サイレージ調整に関する情報共有	県畜産研究所 ・エコフィード飼料給与技術支援 ・飼料作物の生産及び給与に係る技術支援	県庁畜産課 ・県エコフィード活用研究会の運営	(国) 畜産クラスター事業、畜産環境保全総合対策事業(県) ECO畜産供給体制構築事業